

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 高木 明	
歴史-03	重点事業	(仮称)鎌倉歴史文化交流センター設置事業 ☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
	まち・ひと・しごと		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保存、調査・研究、情報の充実

1 事業の目的

対象	(仮称)鎌倉歴史文化交流センター
意図	市民等が鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産について学び、触れ合うことのできる場として、(仮称)鎌倉歴史文化交流センターを開館する。
効果	市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

- ・(仮称)鎌倉歴史文化交流センター改修工事、導入路整備工事、外構工事を行うと共に、(仮称)鎌倉歴史文化交流センター展示製作業務を実施した。
- ・平成29年3月30日付で鎌倉歴史文化交流館条例を制定した。
- ・庭園管理や施設管理業務等、公有財産の維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	104,238	
決算値(千円)	64,901	525,238	国県支出金		
国県支出金	9,330	138,120	地方債		
地方債			その他	28,153	
その他	44,196	360,362	一般財源	76,085	
一般財源	11,375	26,756	人員配置数	4.0	
人員配置数	2.5	4.0	人件費(千円)	31,087	
人件費(千円)	19,135	30,907	総事業費(千円)	135,325	
総事業費(千円)	84,036	556,145	市民1人当りの経費(円)	767	
市民1人当りの経費(円)	474	3,144	対象者1人当りの経費(円)		
対象者1人当りの経費(円)					

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ その他 見直しの内容 (仮称)鎌倉歴史文化交流センターの整備が完了し、鎌倉歴史文化交流館として開館することとなった。今後は市民等に親しまれる魅力的な施設となるよう、積極的な運営・維持管理を行う。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☒ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 建物の整備に係る改修工事や展示製作業務が完了したため、施設の運営や維持管理に係る費用となったため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	(仮称)鎌倉歴史文化交流センターの平成29年4月開館を目指し、既存建物の改修工事、導入路整備工事、外構工事、展示製作業務等を実施し、年度内に完了したものの、竣工が年度末となったことから、その後の準備作業(展示品の搬入、展示作業等)に時間を要したため、開館時期を平成29年5月に延期し、引き続き開館準備を行うこととした。 また、施設の趣旨、正式名称、運営方法等を定めた「鎌倉歴史文化交流館条例」を制定した。(平成29年3月30日付で公布)。	

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	(仮称)鎌倉歴史文化交流センターを平成29年4月に開設する。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	・(仮称)鎌倉歴史文化交流センター改修工事、導入路整備工事、外構工事を行うと共に、(仮称)鎌倉歴史文化交流センター展示製作業務を実施した。また、施設の趣旨、正式名称、運営方法等を定めた「鎌倉歴史文化交流館条例」を制定した。(平成29年3月30日付で公布) ・庭園管理や施設管理業務等、公有財産の維持管理を行った。	■ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	周辺住民に配慮した開館時間等(日曜祝日等閉館、開館時間10:00～16:00)については、議会の付帯決議とされており、開館する中で住民環境等への影響などを見極めながら、住民との話し合いの場を設け、ご理解をいただきながら、日曜・祝日開館への取り組みを進めていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	他市歴史博物館等文化施設の年間来館者数							
団体名	鎌倉市	横須賀市自然・人文博物館	平塚市立博物館					
他市実績	—	51107	56445					
	H29.5開館							

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	開館直後であり、周辺環境への配慮のため日曜・祝日閉館としている本施設の入館者数との単純比較は出来ないが、他文化施設と比較しても妥当と言える年間60,000人の来館を考えている。
---------------------------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

事業実施に係る指標										
指標の内容	(仮称)鎌倉歴史文化交流センターの設置					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		鎌倉歴史文化交流館条例において、正式名称を「鎌倉歴史文化交流館」と定めた。
市民等に親しまれる施設を目指し、展示製作業務、建物改修工事等を実施し、平成29年4月の開設を目指すため。	目標値	30.0	60.0	90.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	30.0	40.0	90.0						
	達成率	100.0%	66.7%	100.0%						

指標の内容	(仮称)鎌倉歴史文化交流センターの運営					単位		指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
市民等に親しまれる施設を目指し、円滑な運営・維持管理を行う。	目標値	維持管理	維持管理 開館準備	維持管理 開館準備	維持管理 施設運営	維持管理 施設運営	維持管理 施設運営			
	実績値	維持管理	維持管理 開館準備	維持管理 開館準備						
	達成率	-	-	-						

指標の内容	(仮称)鎌倉歴史文化交流センター入館者数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
周辺環境に配慮しながら、適切な運営を行う上で、施設の有効性を把握するため。	目標値				60,000.0	60,000.0	60,000.0		平成29年5月開館	
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方	周辺の住環境に配慮しつつ、市民等に親しまれる魅力的な施設となるよう、積極的な運営・維持管理を行う。 広報、SNS等において、積極的に施設のPRを行う。	
--	--	--